

鈴鹿市空家等対策計画（案）に係る意見公募手続きの結果

案件	鈴鹿市空家等対策計画（案）
募集期間	平成28年12月6日～平成29年1月5日
意見の件数	3件（2人）

No.	頁	項目	ご意見	回答
1	—	全体	市の関与が後手後手に廻っている。積極的に空き家をなくそうとする取り組みが感じられない。確かに私有財産への介入となるが、公共の福祉、地域防災の観点から、管理不全空き家や特定空き家を除却する取り組みを市が主体となって取り組むべきである。	特定空き家等への対処は、第3章に記載しており、本計画に基づき積極的に取り組みます。
2	—	全体	空き家を減らす取り組みとして、長期優良住宅の普及（P28）、木造住宅の耐震化（同P28）が掲げられているが、これらは、建物の長寿命化への取り組みであり、現に空き家となっているものや、成りかけているものへの抑制効果にはなっておらず、単に寿命を先延ばししているだけである。そもそも空き家が発生する主因は、人口減少である。この人口減少社会の中、新たに住宅団地を造成して新築住宅を供給していることが、既存住宅の有効利用対策が進まない最大の要因と考えられる。スクラップアンドビルトを除き、新築住宅供給を少しでも規制する等の政策が必要ではないか。また、人口増加対策のため、鈴鹿市が住みやすい市となるような政策をもっと積極的に行うことも大切であり、そのような政策も記載していただきたい。	本計画は、住宅の建築や宅地の開発を制限するものではありません。 このことから、計画の修正は行わず、原案とおりといたします。 また、住みよいまちを実現するための施策については、「鈴鹿市総合計画 2023」に記載しています。

No.	頁	項目	ご意見	回答
3	—	<p>計画外の意見</p> <p>(参考資料【(鈴鹿市空家等実態調査報告書)(資料編)】への意見)</p>	<p>鈴鹿市空家等実態調査報告書(資料編)</p> <p>・資料P14によると、一ノ宮地区長太栄町の戸建て住宅の世帯数は743戸とのこと。長太栄町は1丁目～5丁目まであり、このうち1丁目と2丁目の現状は次のようになっています。</p> <p>長太栄町1丁目 戸建て住宅 86戸 空き家 7戸 空き家率 8.1%</p> <p>長太栄町2丁目 戸建て住宅 273戸 空き家 24戸 空き家率 8.8%</p> <p>計 戸建て住宅 359戸 空き家 31戸 空き家率 8.6%</p> <p>上記長太栄町の世帯数(743戸)から見て、長太栄町3丁目～5丁目には384戸建っていることになり、1丁目・2丁目と同様の比率で空き家があると仮定すると、<u>長太栄町全体には60戸以上の空き家が存在することになります。</u></p> <p>ところが、資料P14によると<u>長太栄町の空き家総数は19件(空き家率2.2%)</u>と表示されています。今回実施された調査は、現状と大きくかけ離れた調査結果(調査精度が悪い)になっていると思われるかもしれませんがいかがでしょうか。</p>	<p>今回実施しました鈴鹿市空家等実態調査は、道路からの外観目視により、建築物やその敷地の状態の調査を行い、空き家の判定を行っていることから、調査結果が、地元の皆様が把握されている空き家の数と差異が生じたものと思われます。</p> <p>今後、効果的な空き家対策を推進するため、地元の皆様の協力を得ながら、空き家の実態把握に取り組んでいきます。</p>

以上